核兵器禁止条約（TPNW）への日本政府の署名と批准を！

批准を求める意見書提出」の請願・議決の状況

9市議会 +①=10		
2018年	6月	寒河江市、南陽市、山形市
	9月	新庄市、天童市、酒田市
2019年	6月	米沢市
2021年	6月	上山市
	9月	長井市
13町議会 +①=14		
2918年	6月	河北町、西川町
	9月	真室川町、大石田町、金山町、最上町、舟形町
2019年	6月	三川町、庄内町
2020年	9月	山辺町
2021年	9月	小国町、飯豊町
	12月	白鷹町
3村議会		
2018年	9月	大蔵村、鮭川村
2019年	3月	戸沢村

2026年6月 尾花沢市 賛成
非自民3+国民党1+共産1
自民2+公明1 =8
反対 自民5

2026年6月 高畠町 全会一致

6月議会 否決7
村山・東根
鶴岡・大江
朝日・中山
川西
(5:5同数・議長反対)

核兵器は、無差別に多数の人命を奪い、長期にわたり放射線被害をもたらす非人道的な兵器である。

2017年、国連で『核兵器禁止条約（TPNW）』が採択され2021年に発効。本条約は、核兵器の開発、保有、使用及びその威嚇を包括的に禁止した。

現在、99の国と地域が署名し、74の国と地域が批准している。

しかし、日本は、世界で唯一の戦争被爆国でありながら、未だに本条約に署名・批准していない。核兵器の惨禍を経験した国として、核兵器廃絶に向け先頭に立つべき歴史的・道義的責任がある。

山形県では、これまで ~~26~~ 27 → 36 の内 75% の市町村が『核兵器禁止条約（TPNW）』への日本政府の署名と批准を求め意見書を提出している。

あなたの自治体は・・・・

＊世界から核兵器なくす県民の会（9条改憲No！県民の会・事務局　県平和センター）6月議会に
「核禁条約批准請願」
自民議員の「意見書提出に反対」

①「**核の傘、日米安保条約で日本の平和**が守られている」
だが、イラン戦争で、在日米軍基地から米軍出動、
1万km離れているから、日本にドローン反撃がこないだけ。
湾岸諸国の米軍基地だけでなく、民間のインフラにまで反撃されてる。
「日米安保軍事同盟」は、もはやリスクでしかない

② **外交・安全保障は国の仕事。地方議会が口出しすべきでない**

ひと休みびと条例をどう生かすか
～山形から始まる新たな支援のかたち～

<10.9 シンポジウム 15:00～>

コーディネーター
滝口克典氏　よりみち文庫 共同代表
NPO法人Sisterhood 事務局長

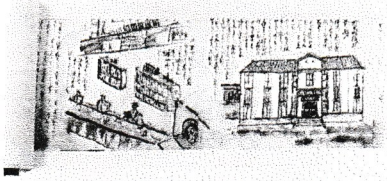
コメンテーター
池上正樹氏　一般社団法人ＳＨＩＰひきこもりと共生社会を考えるネットワーク 代表理事

シンポジスト
鈴木伸治氏　山形市福祉推進部 次長(兼) 地域共生社会課長
田中美枝子氏　ひきこもらざるを得なくなった子を持つ親と支援者の会 かたばみの会 代表
山岸真人氏　山形県精神保健福祉士協会 会長
株式会社ameharu　取締役
白石祥和氏　認定NPO法人With優 代表

帰還者たちの記憶ミュージアム
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES
平和祈念展示資料館［総務省委託］

お問い合わせ
東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル33階　Tel. 03-5323-8709
https://www.heiwakinen.go.jp
@heiwakinen

山形県に関連する戦争資料の展示



『シベリア抑留者の想い出 絵巻（上）』澤田精之助
提供：小さな小さな平和祈念館

山形県出身のシベリア抑留者が自身の戦争体験を絵巻に描いた資料や、山形県から満洲に渡った人物の体験記などを紹介します。

協力：山形県健康福祉部 地域福祉推進課